

貸借対照表

(2020年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	485,794	流 動 負 債	361,155
現金預金	4,839	買掛金	242,663
受取手形	110	未払金	6,016
売掛金	272,683	未払連結納税	8,683
商品	0	未払消費税	20,078
製品	31,383	未払費用	59,428
原料	54,411	法人税等充当金	535
貯蔵品	8,213	事業税等引当金	1,255
前払費用	18,184	前受金	4,119
前渡金	0	預り金その他	1,302
短期貸付金	90,012	賞与引当金	17,072
未収入金	4,806		
仮払金	1,150		
デリバティブ債権	0		
固 定 資 産	513,674	固 定 負 債	14,202
有形固定資産	420,553	退職給付引当金	7,692
建物	130,780	役員退職引当金	6,510
構築物	104,421		
機械及び装置	32,254	負 債 の 部 合 計	375,357
車両及び運搬具	50,078		
工具器具備品	13,380	(純資産の部)	624,111)
一般用土地	89,637		
建設仮勘定			
無形固定資産	8,283		
営業権	0	株 主 資 本	619,919
電話加入権	470	資本金	30,000
システム開発費	7,812		
投資その他の資産	84,838	利益剰余金	589,919
投資有価証券	37,397	利益準備金	7,500
出資金	110	任意積立金	100,000
長期前払費用	1,349	繰越利益剰余金	482,419
繰延税金資産	17,384	(うち当期純利益)	(69,598)
敷金	23,150	評 価 ・ 換 算 差 額 等	4,191
その他の投資	5,446	その他有価証券評価差額金	4,191
		繰延ヘッジ損益	
資 産 合 計	999,469	負債及び純資産合計	999,469

個別注記表

(2020年3月31日現在)

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

・時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法によって処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。)

(2) デリバティブの評価基準及び評価方法

時価法

(3) たな卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法
(貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

(4) 固定資産の減価償却の方法

・有形固定資産

定額法によっております。

・無形固定資産

定額法によっております。

(5) 引当金の計上基準

・賞与引当金

従業員への賞与の支給に充てるため、支給見込額の当期負担分を計上しております。

・退職給付引当金

退職時に見込まれる退職給付の総額のうち、期末にまでに発生していると認められる額(期末自己都合要支給額)から、中小企業退職金共済制度により給付される額を控除した見込み額を計上しております。

・役員退職引当金

役員退職金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額の100%を計上しております。

(6) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

・消費税及び地方消費税の会計処理方法

税抜方式により処理しております。

・連結納税制度

連結納税制度を適用しております。

・ヘッジ会計の方法及び方針

ヘッジ会計の方法は、繰延ヘッジ処理を採用しております。

ヘッジ方針は、市場相場変動に伴うリスクのヘッジを目的として、実需にもとづく債権または債務を対象にデリバティブ取引を行っており、デリバティブ取引に関する管理規定に基づき取引を行い、ヘッジの有効性の判定を含めたリスク管理を実施しております。

2. 会計方針の変更に関する注記

・当社は、従来有形固定資産の減価償却方法として、定率法を採用しておりましたが、グループ(JX金属グループ)内の減価償却方法と統一するために、当期より定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当事業年度の営業利益及び経常利益並びに税引前当期純利益がそれぞれ13,616千円増加しております。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 422,354 千円

(資産別内訳)

建物 84,925 千円

構築物 77,849 千円

機械及び装置 161,971 千円

車両及び運搬具 79,358 千円

工具器具備品 18,252 千円

(2) 関係会社に関する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権 231,776 千円

短期金銭債務 7,061 千円

4. 損益計算書に関する注記

(1) 特別利益の主な項目

ウイングボディ13tトラック下取り 1,500 千円

1,500 千円

(2) 特別損失の主な項目

棚卸資産の不良在庫処分費用(プリプレグ) 7,712 千円

棚卸資産の滅失処理費用(銅箔) 756 千円

固定資産売却簿価費用(トラック) 9 千円

計 8,477 千円

5. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度の末日における発行済株式の総数 普通株式 10,000 株

(2) 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

・2019年12月27日の取締役会において、次の通り決議されました。

①配当金の総額 60,000 千円
 ②配当金の原資 利益剰余金
 ③1株当たりの配当額 6,000 円
 ④基準日 2019年9月30日
 ⑤効力発生日 2019年12月26日

・2020年3月26日の臨時株主総会において、次の通り決議されました。

①配当金の総額 70,000 千円
 ②配当金の原資 利益剰余金
 ③1株当たりの配当額 7,000 円
 ④基準日 2020年3月26日
 ⑤効力発生日 2020年3月31日

6. 1株当たり情報に関する注記

・1株当たり純資産額 62,411円13銭
 ・1株当たり当期純利益 6,959円81銭

7. 当期純利益額

当期純利益 69,598 千円

8. 重要な後発事象

該当事項はありません。

以上